

～授業や実習をとおして感じた介護の魅力～



私は入学当初、授業についていけるのか、実習はちゃんとできるのかななどの不安を感じていました。しかし、学びを進めて行くと、その不安は解消されました。4回行われる実習から得られるたくさんの経験と、先生方の分かりやすい講義で、専門的な知識と技術をたくさん身につけられるということが分かったからです。

一番初めの実習では、何をすればよいのか、また、利用者の方どのようにコミュニケーションをとればよいのかが分からず、おどおどしたり黙り込んでしまったり、反省すべき点がたくさんありました。しかし、しっかり反省点を確認したことで、2回目の実習で改善しよう！次はこのようなにしよう！という自分自身の意欲にもつながりました。先生方や施設の職員の方の、ていねいなご指導とサポートのおかげで、もっと頑張ろうという気持ちにもなりました。

介護福祉士は、大変でつらい仕事だと思われがちですが、心やさしい利用者さんもたくさんいらっしゃいますし、なによりも利用者さんの笑顔や、「ありがとう」という言葉をいただくと、もっとたくさんの方と関わっていきたいという気持ちが強くなります。

今後、たくさんの方が介護福祉士という魅力的な仕事に目を向けてくれると嬉しいなと思います。

短大 福祉学科 地域介護福祉専攻 2年 村田 早希
千葉県私立桜林高等学校出身



～幼稚園実習を終えて～

5月22日(月)から3週間、幼稚園実習を行いました。1年生の時の実習とは異なり今回の実習では、一日まるごと園児の指導や保育を行う責任実習がありました。予め指導案を立て先生方にご指導いただきましたが、当日はとても不安でした。主活動で行った「紙コップけん玉」では、担任の先生から「こうしてごらん」「あの子をみてあげて」とアドバイスをいただき、とても心強かったです。どの子ども楽しそうに活動して「先生できたよ！」と見せに来てくれて、「楽しい！」とけん玉をやってみせてくれたことが何より嬉しかったです。



授業で学んだことが実習で生かされたり、現場で初めて分かったことがあったり、とても有意義な3週間でした。

短大 福祉学科 児童障害福祉専攻 2年 蛭田 夏海
千葉県私立植草学園大学附属高等学校出身



～「森の遠足」のボランティアに参加して～

5月18日(木)、植草学園大学附属弁天こども園の園児たちが学内の共生の森に遊びに来る「森の遠足」のボランティアに参加しました。昨年も参加し、全体の流れがつかめていたので、不安なく参加することができました。そして、子どもの無邪気な姿が見られて、とても有意義な時間が過ごせました。



今回のボランティアに参加するにあたり、「子どもたちに自然を全身で味わってもらおう」といった目標を立てて臨みました。そのために、土のにおい、地面の木くずの感触、風の音などに注意を向けるような言葉かけをしたところ、「気持ちい

いね！」と言ってくれ、自分の意図したことが伝わり、さらにたくさんお喋りしてくれたのでとても嬉しく思い、達成感が湧きました。

今後のボランティアでも、子どもたちの気づきや発見、感じたことを大切に、ボランティアでの経験が実習での糧となるよう、精一杯取り組みたいです。



大学 発達教育学部 発達支援教育学科 2年 細矢 郁実
千葉県立実籾高等学校出身



～「教員採用試験対策講座」を実施しています～



本学ではキャリア支援課に、教育行政経験者や現場で豊富な指導経験のある教職支援コーディネーターを配置し、小学校・特別支援学校教諭をめざす学生を対象に、大学3年生後期と4年生前期に「教員採用試験対策講座」を開催しています。講座では教育施策や教育時事などの「教職教養」、小学校・特別支援学校の「専門教科」について扱うほか、小論文、面接、模擬授業等について一人ひとりにていねいな指導を行っています。

また、インターンシップや講師登録等についての相談活動も行い、教員をめざす学生並びに卒業生を全面的にバックアップしています。こうした支援により、教員採用試験の合格者数については過年度卒業生も含め、年々増加しています。

キャリア支援課 教職支援コーディネーター
小池 公夫・鎌田 哲夫